

- XP-302M-R-A-1
- XP-302M-R-B-1
- XP-302M-R-C-1
- XP-302M-R-A-2
- XP-302M-R-B-2
- XP-302M-R-C-2

マルチ型ガス検知器 取扱説明書

この取扱説明書には左記 6 機種 of 取り扱い方法が記載されています。

- この取扱説明書は、必要なときにすぐ取り出して読めるように、できるだけ身近に大切に保管してください。
- この取扱説明書をよく読んで理解してから正しくご使用ください。

※防爆関連事項について確認のうえご使用ください。(P2 参照)

仕様コードの説明

XP-302M-R- ※1 - ※2

※1 検知対象ガス

- A : 酸素 (O₂) ・ 可燃性ガス (COMB)
硫化水素 (H₂S) ・ 一酸化炭素 (CO)
- B : 酸素 (O₂) ・ 可燃性ガス (COMB) ・ 硫化水素 (H₂S)
- C : 酸素 (O₂) ・ 可燃性ガス (COMB) ・ 一酸化炭素 (CO)

※2 主な付属品

- 1 : 1m ガス導入管 (吸引パイプ付)
- 2 : 8m ガス導入管 (サンプリングフロート付)



新コスモス電機株式会社
NEW COSMOS ELECTRIC CO.,LTD.

目 次

包装内容物の説明	1
オプション（別売）	1
1. はじめに	2
防爆関連事項について	2
シンボルマークの説明	2
安全にご使用いただくために	3
2. 各部の名称とはたらき	4
3. 使用方法	8
キャリングケースの使用方法	8
準備	9
使用手順	11
ガス濃度画面の見方	13
ガス警報について	14
ピークホールド機能について	15
自動バックライトとバックライトタイマーについて	15
各種機能と設定方法	16
各種機能と設定方法 警報テスト	17
各種機能と設定方法 ロギング	18
各種機能と設定方法 警報レベル	23
各種機能と設定方法 時計合わせ	24
各種機能と設定方法 O ₂ モード設定	25
各種機能と設定方法 音量／サイレント	26
各種機能と設定方法 LCD コントラスト	28
各種機能と設定方法 表示設定	29
各種機能と設定方法 安全ロック	30
4. お知らせ及びエラーメッセージ	33
5. 消耗品の交換方法	34
フィルタエレメントの交換	34
活性炭フィルタの交換	35
電池の交換	37
外部警報器（オプション）の電池の交換	37
6. 保守点検	38
日常点検	38
定期点検	39
主な交換部品	39
7. 故障とお考えになる前に	40
8. 保証書と web ユーザー登録	41
9. 廃棄について	41
10. 仕様	42
11. 検知原理	44
12. 用語の説明	45

－ 包装内容物の説明 －

包装箱の中に、下記のものが入っています。使用前に、必ずすべてがそろっているか確認してください。作業には万全を期していますが万一製品に破損や欠品がございましたら、お手数ですがお買上げ店または弊社までご連絡ください。送付させていただきます。

名称	数量
マルチ型ガス検知器 XP-302M-R (キャリングケースおよびショルダーベルト付)	1
XP-302M-R- □ -1 の場合 1m ガス導入管 (ドレンフィルタおよび吸引パイプ付) XP-302M-R- □ -2 の場合 8m ガス導入管 (サンプリングフロートおよび収納ケース付)	1
XP-302M-R- □ -1 交換用フィルタエレメント (FE-2) 2 枚入り XP-302M-R- □ -2 交換用フィルタエレメント (FE-2) 10 枚入 (キャリングケース背面の収納ポケットにあります)	1
単 3 形アルカリ乾電池 (LR6) パナソニック (株)	4
取扱説明書	1
検査成績書／保証書	1
web ユーザー登録のご案内	1

オプション (別売)

名称
外部警報器 (8m ケーブル) AL-302M-R-8
ログデータ収集セット XP302ML [※] ソフトウェア (CD-R)、USB ケーブル (1.8m) 付
AC アダプタ AD-1 (AC100-240V 50/60Hz) (防爆における非危険場所での使用に限ります)

※ 下記の条件を満たすパソコンが必要です。

- ・ Windows 搭載パソコン

(対応の Windows バージョンおよびハードウェア要件については、お問い合わせまたは、ログデータ収集セット XP302ML の取扱説明書等でお確かめください。)

1. はじめに

このたびは、マルチ型ガス検知器 XP-302M-R をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。正しくお使いいただくために、この取扱説明書を必ずお読みになり、ガス事故防止、保守点検にお役立てください。

本器は、酸素 (O₂) ・可燃性ガス (COMB) ・硫化水素 (H₂S) ・一酸化炭素 (CO) の 4 種類 (A タイプ) または 3 種類 (B または C タイプ) のガス検知を行い、各ガス濃度を同時に表示します。また、あらかじめ設定された値 (警報レベル) のガス濃度を検知すると警報を発し、酸素欠乏、ガス爆発、ガス中毒等による事故の未然防止にお役立いただくためのガス検知器です。

ガス検知器を使用したことのあるないに関わらず、この取扱説明書をよく読んで内容を理解してください。本器を使用目的以外には使用しないでください。また、取扱説明書に書かれていない使用方法では使わないでください。

■ 防爆関連事項について

下記の防爆関連事項について、確認のうえご使用ください。

機器本体

防爆構造 : Ex ibd II B T3 X

定格 電源 : DC3.0V 0.35A (パナソニック (株) 製 LR6 1.5V 4 本)

可燃性ガスセンサ部 : DC2.5V 0.13A

周囲温度 : -20~40°C

使用条件 : ・電池交換は非危険場所で行うこと。

- ・当社指定のキャリングケースに収納して使用すること。
- ・USB および AC アダプタは非危険場所でのみ使用すること。
- ・静電気の帯電による危険防止の総合的な対策として、携帯して使用する人の衣服は帯電防止作業服、履き物は導電性履き物 (帯電防止作業靴)、床は導電性作業床 (漏電抵抗 10M Ω 以下) であることが望ましい。
- ・酸素濃度測定に際しては、空気と可燃性ガスまたは蒸気および毒性ガスとの混合物中の酸素濃度の測定以外には使用しないこと。

外部警報器 (オプション)

防爆構造 : Ex ib II B T3

定格 電源 : DC3.0V 0.2A (パナソニック (株) 製 LR6 1.5V 2 本)

周囲温度 : -20~40°C

使用条件 : ・電池交換は非危険場所で行うこと。

- ・当社指定の保護ケースに収納して使用すること。
- ・静電気の帯電による危険防止の総合的な対策として、携帯して使用する人の衣服は帯電防止作業服、履き物は導電性履き物 (帯電防止作業靴)、床は導電性作業床 (漏電抵抗 10M Ω 以下) であることが望ましい。

■ シンボルマークの説明

本文中に危険、警告、注意のマークが出てきます。これらのマークの定義は下記の通りです。

 危険	回避しないと、死亡または重傷を招く切迫した危険な状況の発生が予見される内容を示しています。
 警告	回避しないと、死亡または重傷を招く可能性がある危険な状況が生じることが予見される内容を示しています。
 注意	回避しないと、軽傷を負うかまたは物的障害が発生する危険な状況が生じることが予見される内容を示しています。
 メモ	取り扱い上のアドバイスを意味します。

1. はじめに (つづき)

□ 安全にご使用いただくために

安全にご使用いただくために、下記の事項を必ずお守りください。

**危険**

ガス警報を発しましたら、直ちに爆発またはガス中毒の事故を防ぐために必要なすべての処置をしてください。

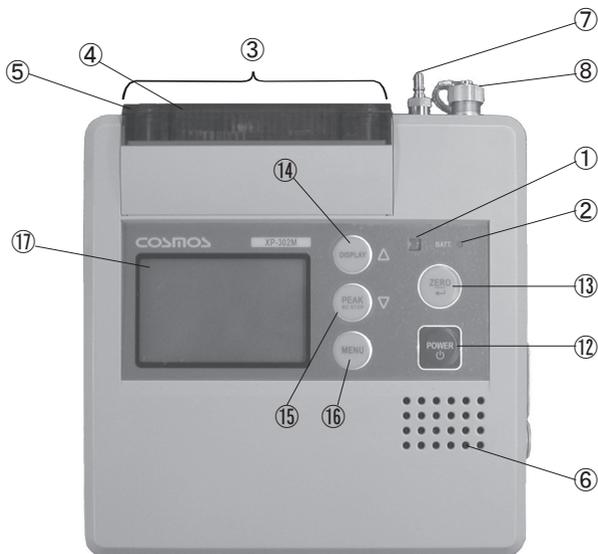
**警告**

- ・電源を入れる時は、必ず清浄空気中で行ってください。自動的にゼロ調整を行いますので、ガス雰囲気中に行くと誤ったガス濃度が表示されます。
- ・吸引口および排気口をふさがないでください。ふさぐと検知できません。
- ・フィルタエレメントは、清浄な状態でお使いください。フィルタエレメントが汚れていたり、水分が付着していると、正常な検知ができません。
- ・センサユニットの保証は、お買上げ日より1年です。1年を過ぎると、正常な検知ができないおそれがありますので、1年を目安に交換してください。
- ・外部警報器の動作ランプ（緑色）が点滅または消灯していると異常または停止状態です。使用を中止し、7. 故障とお考えになる前に（P40）をご覧ください。適切な処置をしてください。

**注意**

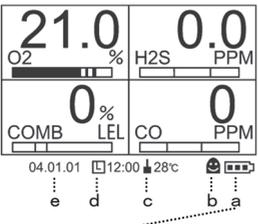
- ・長期間ご使用にならない場合でも、定期的（1ヶ月に1回程度）に電池残量を点検してください。電池残量が少ないと電池の液漏れを生じるおそれがありますので新しい電池に交換してください。
- ・本器は本質安全防爆構造です（可燃性ガスセンサ部は耐圧防爆構造）。分解、改造、構造および電気回路の変更等はしないでください。防爆性能を損なうおそれがあります。
- ・高温、多湿の場所に長く放置しないでください。機器の性能を損なうおそれがあります。
- ・使用温度／湿度範囲外での使用および急激な温度／湿度変化は避けてください。機器の性能を損なうおそれがあります。
- ・大きな気圧変化は避けてください。センサの性能を損なったり破損するおそれがあります。
- ・落としたり、ぶつけたり等の強い機械的ショックおよび強い振動などは避けてください。機器の性能を損なうおそれがあります。
- ・本器が結露した場合は、除去して完全に乾燥させた後に点検をしてからご使用ください。
- ・検知対象ガス以外のガス、溶剤の蒸気等も検知する場合がありますので測定環境を考慮してご使用ください。
- ・シリコン系のシール材等を使用している周辺もしくはシリコン系ガス雰囲気下での使用は、機器の性能を損なうおそれがありますので避けてください。
- ・高濃度の二酸化硫黄（SO₂）、塩素（Cl₂）等のガスを検知すると、センサの寿命が短くなったり、誤差が大きくなるおそれがあります。
- ・測定環境の気圧が標準気圧と異なる場所（例えば、標高の高い場所など）での測定では、酸素センサが圧力依存を受けるため測定値の圧力補正を行ってください。
- ・電波の発生源近くでの使用は避けてください。使用中に無線機等に近づけると電波の影響で指示値のフラツキや警報を発する場合があります。
- ・本体部はキャリングケースによる簡易防滴です。できるだけ水等がかからないようにしてください。
- ・ガスセンサには有害な物質が含まれています。廃棄する場合は、産業廃棄物として処分してください。
- ・長期間使用しない場合でも、6ヶ月に一度は電源を入れ、ポンプが吸引することを確認してください（3分間程度）。長期間動作させずにいると、ポンプのモータ内のグリスが固まり動作しなくなることがあります。

2. 各部の名称とはたらき



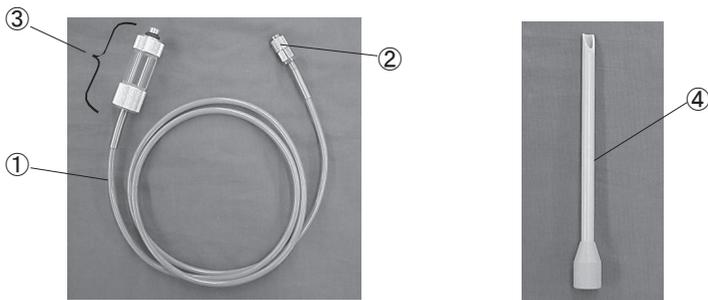
No.	名称	はたらき
1	照度センサ	明るさに応じてLCDのバックライトを自動点灯・消灯させます。(ACアダプタ(オプション)接続時には常時点灯します。)
2	BATT. ランプ	電池電圧が低下すると点滅します。
3	センサユニット	ガス種毎のセンサが内蔵されています。 ※可燃性ガス (COMB) 用センサは耐圧防爆構造です。
4	警報ランプ	ガス警報時に点滅します。
5	排気口	吸引したガスを排気します。
6	ブザー孔	ブザーが鳴ります。
7	ガス導入管接続口	ガス導入管を接続します。

2. 各部の名称とはたらき (つづき)

No.	名称	はたらき	
8	外部警報器接続コネクタ	外部警報器 (オプション) の接続口です。	
9	USB ポートカバー	USB ケーブル (オプション) の接続口のフタです。	
10	DC ジャックカバー	AC アダプタ (オプション) の接続口のフタです。	
11	電池カバー	電池収納部のカバーです。	
12	 POWER スイッチ	電源の入/切に使用します。	
13	 ZERO	ZERO スイッチ	自動ゼロ調整に使用します。
		確定スイッチ	各種の機能設定時に使用します。
14	 DISPLAY	DISPLAY スイッチ	〈ガス濃度画面〉の切り替えに使用します。
		△ スイッチ	各種の機能設定時に使用します。
15	 PEAK	PEAK スイッチ	ピークホールドの設定/解除に使用します。
		BZ.STOP スイッチ	ブザーの停止に使用します。
		▽ スイッチ	各種の機能設定時に使用します。
16	 MENU	MENU スイッチ	各種の機能設定時に使用します。
17	LCD 画面	ガス濃度や各種メッセージを表示します。 (ガス濃度の見方は P13 を参照)	
		<p>a. 電池残量を表示します。</p> <p>電池残量 多い 少ない  (点減) (点減)</p> <p>AC アダプタ接続時には電池残量と AC アダプタマークの交互表示になります。 AC アダプター  (電池残量と交互表示)</p> <p>電池残量 多い 少ない </p> <p>b. ポンプ流量を表示します。</p> <p>ポンプ流量 多い 少ない (点減) </p> <p>c. 機器内部における吸気温度を表示します。 (温度センサが機器内部にあるため、 外気とは異なった温度を示します。)</p> <p>d. 時刻を表示します。</p> <p>e. 年月日を表示します。(YY.MM.DD)</p>	

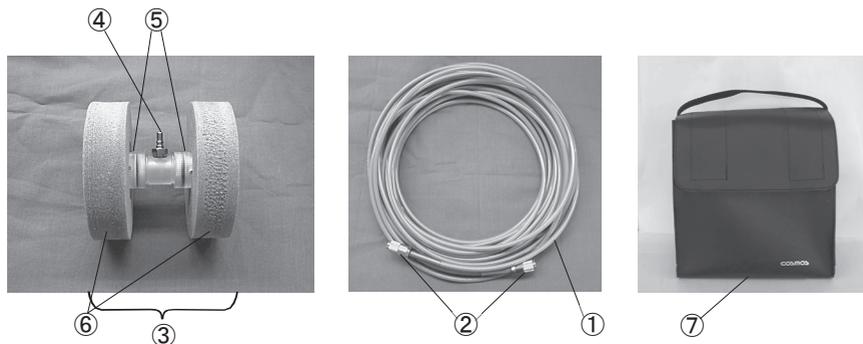
2. 各部の名称とはたらき (つづき)

1m ガス導入管



No.	名称	はたらき
1	ガス導入管	ガスをガス検知器へと導きます。(長さ 1m)
2	カブラ	ガス検知器に接続します。
3	ドレンフィルタ	ガス検知器内部への水の浸入やホコリの侵入を防ぎます。フィルタエレメント (FE-2) が取り付けられています。
4	吸引パイプ	ガスの吸引口です。

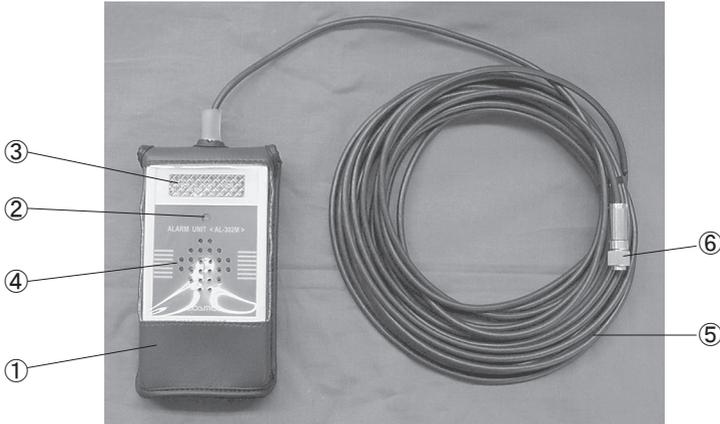
8m ガス導入管



No.	名称	はたらき
1	ガス導入管	ガスをガス検知器へと導きます。(長さ 8m)
2	カブラ	ガス検知器とサンプリングフロートに接続します。
3	サンプリングフロート	フロート付きガスの吸引口です。
4	接続口	ガス導入管を接続します。
5	フィルタエレメント (FE-2)	ガス検知器内部への水の浸入やホコリの侵入を防ぎます。
6	フロート	サンプリング口が水に沈まないようにします。
7	収納ケース	ガス導入管とサンプリングフロートを収納します。

2. 各部の名称とはたらき (つづき)

外部警報器 (オプション)



No.	名称	はたらき
1	保護ケース	外部警報器を収納します。
2	動作ランプ (緑色)	動作状態を示します。 ・点灯：動作中 ・点滅：ガス検知器の異常、通信異常または電池交換警報 ・消灯：停止中
3	警報ランプ (赤色)	警報状態を示します。 ・消灯：ガス警報なし ・点滅：ガス警報中
4	ブザー孔	ブザーが鳴ります。 ・ガス警報時 1 段目ガス警報時：ピッピ...ピッピ...と遅い断続鳴動 2 段目ガス警報時：ピーピーピーと速い断続鳴動 ・異常警報時 ガス検知器の異常時：回復するまでブザーが断続鳴動 通信異常時：5 分間だけブザーが断続鳴動 電池交換警報時：10 秒間だけブザーが断続鳴動 終止電圧時：5 分間だけブザーが連続鳴動
5	通信ケーブル	外部警報器とガス検知器を接続します。(長さ 8m)
6	コネクタ	通信ケーブルをガス検知器に接続します。

3. 使用方法

□ キャリングケースの使用方法



1m ガス導入管



ガス導入管と吸引パイプは背面のポケットに収納できます。



ガス導入管を収納したまま、ドレンフィルタを側面に固定した状態でも使用できます。



8m ガス導入管



収納ケース



8m ガス導入管収納ケースのベルトに、キャリングケースのベルトを通して携帯します。



補助ベルト

首に掛けて補助ベルトを調整すると水平に保持できます。



外部警報器（オプション）も収納ケースに入ります。

3. 使用方法 (つづき)

準備 (1m ガス導入管・8m ガス導入管・外部警報器・AC アダプタの接続)

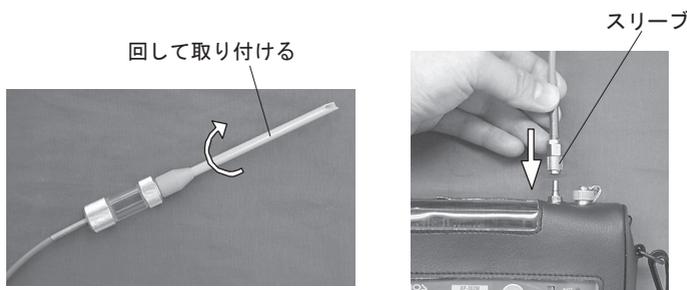


警告

各接続部分が確実に接続されていることを確認してください。接続されていない状態では、正常な検知ができません。

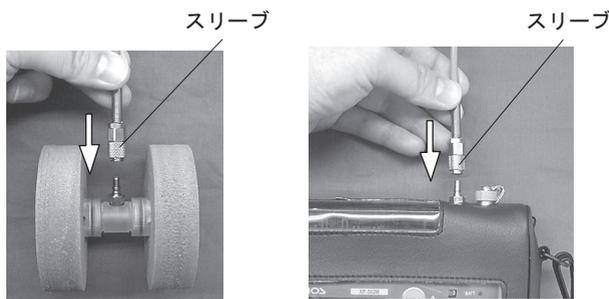
■ 1m ガス導入管の場合の接続

1. 吸引パイプを、ドレンフィルタのネジ部に取り付けます。
2. ガス導入管のカプラを、ガス検知器のガス導入管接続口に「カチッ」というまで差し込みます。
※カプラを外す場合は、スリーブを引き上げると外れます。



■ 8m ガス導入管の場合の接続

1. ガス導入管のカプラをサンプリングフロートの接続口に「カチッ」というまで差し込みます。
2. ガス導入管のもう一方のカプラを、ガス検知器のガス導入管接続口に「カチッ」というまで差し込みます。
※カプラを外す場合は、スリーブを引き上げると外れます。



3. 使用方法 (つづき)

■ 外部警報器 (オプション) の接続

1. 電池を入れます。(電池の入れ方はP37を参照)
2. ガス検知器の外部警報器接続コネクタのキャップを回して外します。
3. 外部警報器接続コネクタにコネクタを差し込み (切込みを合わせる)、ネジ部を回して固定します。

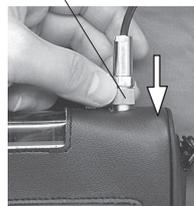
外部警報器接続
コネクタのキャップ



切込み



ネジ部



■ AC アダプタ (オプション) の接続 (AC100V, 50/60Hz 電源を使用する場合)



警告

AC アダプタを防爆に
おける危険場所では使
用しないでください。

ガス検知器側面にある、DC ジャック
カバーを外してAC アダプタのプラグを
差し込み、電源に接続します。(電池を
使用する場合はP37を参照)



AC アダプタのプラグ

メモ

- ・電池を入れないで AC アダプタだけで使用した場合、電池が入ってなくても電池残量が  と  で交互に表示されます。また、電源を切った状態で AC アダプタを外すと 1 時間程度※で時計が停止しますので、必要に応じて電池を入れてお使いください。(※条件により異なります)
- ・電池の液漏れを防ぐため、AC アダプタでご使用の場合でも、電池残量が少なくなれば新しい電池に交換してください。
- ・電源が入った状態で AC アダプタの抜き差しをしないでください。電源の切替え (電池⇄AC アダプタ) をする場合は、一旦電源を切ってからおこなってください。電源が入った状態で切替えると電源が切れる場合があります。

3. 使用方法（つづき）

使用手順

**警告**

検知作業を行う前に必ず「日常点検」（P38参照）を行ってください。

手順

 準備
P9参照

 1 電源を
入れる ▶ 暖機
運転 ▶ 〈ガス濃度画面〉
を表示

 2 検知
する

 3 電源を
切る

1. 電源を入れる→暖機運転→〈ガス濃度画面〉を表示

**警告**

電源を入れる時は、接続した吸引パイプまたはサンプリングフロートを必ず清浄空气中に置いて行ってください。自動的にゼロ調整を行いますので、ガス雰囲気中で行うと誤ったガス濃度が表示されます。

メモ

エラーメッセージが表示される場合は「お知らせ及びエラーメッセージP33」を参照してください。

- ① 「POWER スイッチ」を約2秒間押します。ブザーが「ピコ」と鳴り、電源が入ります。
- ② LCD 画面に“準備中”のメッセージが表示されます（暖機運転中）。
外部警報器を接続している場合は、自動的に通信を開始し“接続を確認しました。”のメッセージが表示されます。
- ③ 1分以内にブザーが「ピー」と鳴り、〈ガス濃度画面〉が表示されます。

3. 使用方法 (つづき)

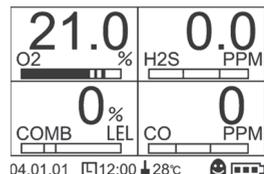
2. 検知する

〈ガス濃度画面〉が表示されると、検知可能です。

→ 〈ガス濃度画面〉の見方はP13参照

→ ガス警報についてはP14参照

〈ガス濃度画面〉



警告

指示値がフルスケールを越えた場合は、すみやかに清浄空気を吸引させてください。そのまま使用するとゼロへの戻りが遅くなったり、正常な検知ができなくなるおそれがあります。



注意

作業環境（温度、湿度等）が変わると21.0%、0 %、0 ppm、がずれる場合があります。そのときは必ず清浄空気中で、「ZERO スイッチ」を約2秒間押してゼロ調整を行ってください。



一酸化炭素 (CO) センサ部にはアルコールや硫化水素等の干渉ガスを除去するために、活性炭フィルタを内蔵しています。必要に応じて交換してください。(P35参照)

3. 電源を切る



注意

- ・電源を切る場合は、清浄空気中で（吸引パイプまたはサンプリングフロートを清浄空気中に置いて）、全てのガス濃度が“0”になってから行ってください。
- ・高湿度の空気を吸引した場合は、常湿の清浄空気を5分以上吸引させてから電源を切ってください。

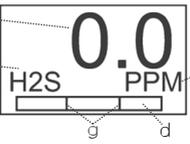
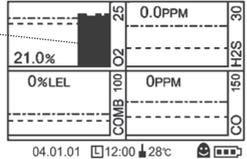
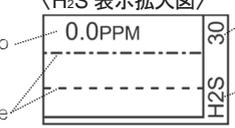
- ① 「POWER スイッチ」を押し続けます。
- ② ブザーが「ピッ、ピッ、ピッ」と鳴ると同時に電源OFF のカウントダウンがLCD 画面で始まりますので「0」になるまでスイッチを押すとブザーが「ピー」と鳴りLCD 画面の表示が消えて、電源が切れます。

3. 使用方法 (つづき)

ガス濃度画面の見方

最大4種類のガス濃度を同時に表示します。ガス濃度画面表示は3通りあり「DISPLAYスイッチ」を押す度に切り替わります。

電源投入時に最初に表示される画面表示は「表示設定」(P29参照)にて設定します。

<p>通常表示</p>		<p>〈H₂S表示拡大図〉</p>  <p>バググラフの表示範囲 O₂: 0-25vol% H₂S: 0-30ppm COMB: 0-100%LEL CO: 0-150ppm</p>
<p>グラフ表示</p>		<p>〈H₂S表示拡大図〉</p> 
<p>文字列表示</p>	<p>酸素 : 21.0% 可燃性ガス : 0%LEL 硫化水素 : 0.0 PPM 一酸化炭素 : 0 PPM</p> <p>04.01.01 12:00 28°C</p>	<p>対象ガス名を和文表示にして、ガス濃度を一括表示します。</p>

- ・ガス濃度がサービスレンジを越えている場合は、濃度表示は「— — —」とフルスケール値との交互表示となります。
- ・センサ異常等で検知不能となった場合は、当該センサの表示部のみ黒く塗りつぶされます。

3. 使用方法 (つづき)

ガス警報について

ガス濃度が警報レベルに達すると、ガス警報を発します。ガス検知器の警報動作は下表の通りです。(外部警報器(オプション)の警報動作はP7参照)

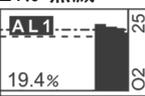
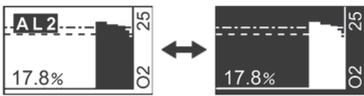
ガス濃度が警報レベルに満たなくなると、ガス警報は自動的に解除されます。

ガス警報中に「BZ.STOP スイッチ」を約0.5秒間押しとブザーのみ停止できます。

メモ

酸素(O₂)において、ガス警報のモードを上下1段に設定している場合(P25参照)は、LCD画面、ブザーおよび警報ランプの動作は上下ともに表中の2段目と同じになります。

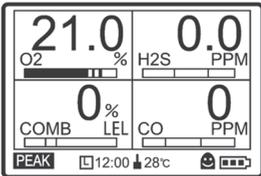
例) 酸素濃度の表示の場合 (1段目警報19.5%、2段目警報18.0%)

	LCD画面	ブザー	警報ランプ
1段目	通常表示 AL1が点滅 	ピッピ・・・ ピッピ・・・ と遅い断続鳴動	ブザーと 同周期で 交互点滅
	グラフ表示 AL1が点滅 		
	文字列表示 AL1と濃度が交互点滅 酸素 : 19.4% AL1		
2段目	通常表示 AL2と表示部全体が交互点滅 	ピーピー と速い断続鳴動	
	グラフ表示 AL2と表示部全体が交互点滅 		
	文字列表示 AL2と表示部全体が点滅 酸素 : 17.8% ↓ 酸素 : 17.8% AL2		

3. 使用方法（つづき）

□ ピークホールド機能について

ピークホールド機能を設定すると、設定後に検知したガス濃度のピーク値を表示し続けます。可燃性ガス（COMB）・硫化水素（H₂S）・一酸化炭素（CO）は最高濃度を、酸素（O₂）は最低濃度（初期設定の場合）を保持表示します。

設定方法	「PEAK スイッチ」を3秒以上押す	<p>〈ガス濃度画面〉の年月日表示の箇所に「PEAK」が点滅表示され、ガス濃度はピーク値を表示します。</p> <p style="text-align: center;">〈ガス濃度画面〉</p> 
解除方法	「PEAK スイッチ」を2秒以上押す	通常的气体濃度値に戻り、ピーク値はクリアされます。

メモ

ピークホールド機能に設定してあっても、電源を切るとピークホールド機能は解除されます。

□ 自動バックライトとバックライトタイマーについて

- ・自動バックライト
明るさセンサにより、周囲が暗くなると自動的にLCD 画面のバックライトが点灯し、明るくなると消灯します。
- ・バックライトタイマー
設定時間が経過するか周囲が明るくなるとLCD 画面のバックライトが消灯します。（設定方法については、P29表示設定参照）

設定可能な時間	説明
[——] 分	明るくなるまで連続して点灯
10分まで5分間隔	設定時間 [分] 経過または、明るくなると消灯
10分～60分まで10分間隔	
60分～600分まで30分間隔	

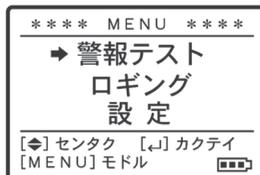
メモ

AC アダプタ（オプション）を接続した場合はLCD 画面のバックライトが常時点灯となります。

3. 使用方法 (つづき)

各種機能と設定方法

「MENU スイッチ」を押すと〈メニュー画面〉が表示されます。ここから、各種の機能実行や設定を行います。



項目一覧	機能と設定内容	参照ページ	
警報テスト	警報のランプおよびブザーの動作テストを行います。 また、ここでガス警報の音量を調整することもできます。	P17	
ロギング	検知した日時、ガス濃度および温度を、設定した周期でロギング（記録）します。 この機能では次の操作ができます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ロギングの開始 ・ロギングの停止 ・ロギングデータの削除 ・ロギング周期の設定 	P18～ P22	
設定	警報レベル (※)	警報レベルの変更を行います。	P23
	時計合わせ	日時の設定を行います。	P24
	O ₂ モード設定 (※)	酸素 (O ₂) のガス警報およびピークホールド機能のモードの選択を行います。	P25
	ガス調整 (※)	ガス調整を行います。 ガス調整が適正でないとき正常なガス検知ができなくなり危険です。安全管理者等の方以外は実行しないでください。ガス調整はお買上げ店または弊社にお申し付けください。	—
	音量/サイレント	ブザー音量の変更およびサイレント設定を行います。	P26～ P27
	LCD コントラスト	ディスプレイのコントラスト調整を行います。	P28
	表示設定	ガス濃度画面の表示切換え、日本語/英語の切換えおよびバックライトタイマー設定を行います。	P29～ P30
	安全ロック	左列 (※) 印の3機能にロックをかけ変更できなくします。変更するにはロックを解除する必要があります。出荷時はロック状態です。	P30～ P32

3. 使用方法 (つづき)

各種機能と設定方法 警報テスト

- ① 「MENU スイッチ」を押して〈メニュー画面〉を表示させます。

〈メニュー画面〉



- ② “警報テスト”が選択されている状態なので、「確定スイッチ」を押します。

- ③ 〈アラームテスト画面〉が表示されて、警報ランプが点滅し、ブザーが鳴ります。

〈アラームテスト画面〉



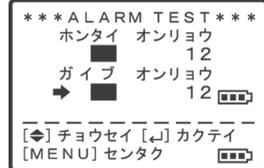
メモ

サイレントモード設定を行っている場合は、“サイレントモードロカイジョシマスカ?”と表示されます。解除を選択すると、サイレントモードは解除され、警報テストが実行されます。

外部警報器を接続している場合

「MENUスイッチ」を押して“ガイブ オンリョウ”を選択すると、ブザーは外部警報器のみ鳴ります。

〈外部警報器を接続している場合のアラームテスト画面〉



- ④ 「△スイッチ」「▽スイッチ」を押すとブザー音量を調整できます。



警告

ここでのブザー音量の変更は、ガス警報時のブザー音量にも適用されます。

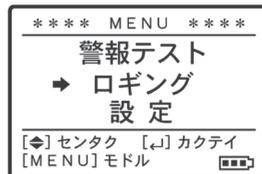
- ⑤ 「確定スイッチ」を押すと、警報テストは停止し、〈ガス濃度画面〉に戻ります。

3. 使用方法 (つづき)

各種機能と設定方法 **ロギング**

- ① 「MENU スイッチ」を押して〈メニュー画面〉を表示させます。

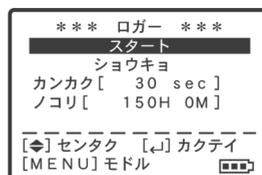
〈メニュー画面〉



- ② 「△スイッチ」または「▽スイッチ」を押し「ロギング」を選択して、「確定スイッチ」を押します。

- ③ 〈ロガー画面〉が表示されます。「△スイッチ」または「▽スイッチ」を押して実行したい項目を選択し、「確定スイッチ」を押します。

〈ロガー画面〉



項目	実行内容
スタート	ロギングを開始します P19参照
ティシ (画面には表示されません)	ロギングを停止します P20参照
ショウキョ	ロギングデータを消去します P21参照
カンカク	ロギング周期を設定します P22参照

警告 USB ケーブルを防爆における危険場所では接続しないでください。

メモ

購入後、初めてご使用になる前に

- ・購入後、初めてご使用する場合は、最初にロギングデータの消去（フォーマット）が必要です。（P21参照）
- ・また、時計が停止（“00.01.01□□00：00”で点滅）した状態ではロギングが開始できません。時計を合わせてからご使用ください。（P24参照）

メモ

ロギングデータを読み出すには、パソコン（条件はP1参照）とログデータ収集セットXP302ML（オプション）が必要です。なおデータはCSV ファイル形式になっており、表計算ソフト（例えばWindows® Excel）で開くことができます。

3. 使用方法 (つづき)

■ ロギングを開始する

- ① P18①～②を行い〈ロガー画面〉を表示させます。

メモ

ロギングは、1周期中毎に瞬時値を取得します。ロギングの周期「カンカク」およびロギング可能な残時間「ノコリ」は画面の下に表示されます。周期を変更する場合はP22を参照してください。
 なお、ロギング中に残時間がなくなるとロギングは自動停止します。

〈ロガー画面〉



- ② “スタート” が選択されている状態なので、「確定スイッチ」を押します。

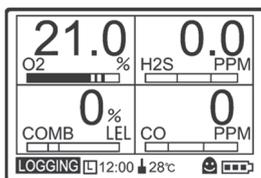
- ③ 〈ロギング開始画面〉が表示され、ロギングを開始します。

〈ロギング開始画面〉



- ④ 「MENU スイッチ」を押すと、〈ガス濃度画面〉に戻ります。
 ロギング中は〈ガス濃度画面〉の年月日表示の箇所「LOGGING」が点滅表示されます。

〈ガス濃度画面〉



メモ

ロギング開始時またはロギング中に“カイシ デキマセン トケイ ラ アワセテクダサイ”または、“[LOGGER STOP] ** ロガー-テイシ **”と表示された場合は、[4. お知らせ及びエラーメッセージ]を参照してください。(P33参照)

3. 使用方法（つづき）

■ ログイングを停止する

- ① P18①～②を行い〈ログイング中画面〉を表示させます。

〈ログイング中画面〉

```
***ログイングチュウ***  
      テイシ シマスカ?  
ノコリ[ 149H42M]  
-----  
[←] テイシ  
[MENU] モドル 
```

- ② 「確定スイッチ」を押すとログイングが停止し、〈ログイング停止画面〉が表示されます。

〈ログイング停止画面〉

```
***** ログー *****  
* ログイング テイシ *  
*   シマシタ   *  
*****  
カンカク[ 30 sec]  
ノコリ[ 149H42M]  
-----  
[MENU] モドル 
```

- ③ 「MENU スイッチ」を押すと、〈ガス濃度画面〉に戻ります。

3. 使用方法 (つづき)

■ ログイングデータを消去する

- ① P18①～②を行い〈ロガー画面〉を表示させます。

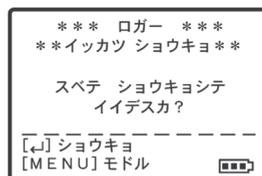
〈ロガー画面〉



- ② 「△スイッチ」または「▽スイッチ」を押し“ショウキョ”を選択して、「確定スイッチ」を押します。

- ③ 〈一括消去画面〉が表示されます。

〈一括消去画面〉

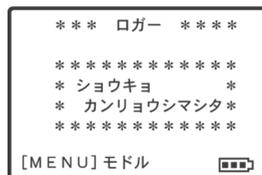


- ④ 「確定ボタン」を押すとログイングデータが消去され、〈消去完了画面〉が表示されます。

〈消去完了画面〉

メモ

ログイングデータは全て消去され
ます。必要なデータはログデータ取
集セットXP302ML (オプション)
でパソコンに保存してください。



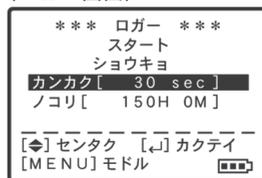
- ⑤ 「MENU スイッチ」を押すと、〈ロガー画面〉に戻ります。

3. 使用方法 (つづき)

■ ログ周期を変更する

- ① P18①～②を行い〈ロガー画面〉を表示させます。

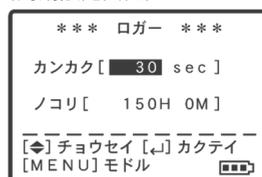
〈ロガー画面〉



- ② 「△スイッチ」または「▽スイッチ」を押し“カンカク”を選択して、「確定スイッチ」を押します。

- ③ 〈周期設定画面〉が表示されます。「△スイッチ」「▽スイッチ」を押して数値を変更します。“ノコリ”はロギング可能な残時間を示しています。例) 30sec (秒) 周期の場合は最大150H (時間)、300sec (秒) 周期の場合は最大1500H (時間)

〈周期設定画面〉



設定可能なロギング周期
0.5秒
1秒～10秒まで1秒間隔
10秒～60秒まで10秒間隔
60秒～600秒まで60秒間隔
600秒～3600秒まで600秒間隔

- ④ 「確定スイッチ」を押すと変更内容が確定し、〈ロガー画面〉に戻ります。

3. 使用方法 (つづき)

各種機能と設定方法 警報レベル

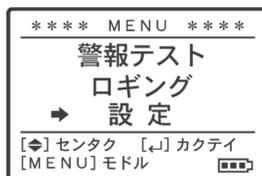
安全ロックがかかっている場合は警報レベルを変更できません。先に安全ロックを解除してください。(P31参照)

警告 警報レベルの設定は非常に重要です。変更する場合は、必ず安全管理者等の方が行ってください。なお、変更した場合は必ず、全ての設定値が間違っていないことを確認してください。

メモ ガス種別の設定内容については、対応ガス種にかかわらず4種のガスを表示しますが、対応していないガス種については設定内容が無効になっています。

- ① 「MENU スイッチ」を押して〈メニュー画面〉を表示させます。

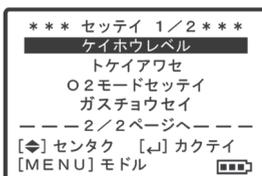
〈メニュー画面〉



- ② 「△スイッチ」または「▽スイッチ」を押して「設定」を選択して、「確定スイッチ」を押します。

- ③ 〈設定1/2画面〉が表示されます。“ケイホウレベル”が選択されている状態なので、「確定スイッチ」を押します。

〈設定1/2画面〉



- ④ 〈警報レベル画面〉が表示されます。「確定スイッチ」を押して変更したい項目を選択します。

〈警報レベル画面〉



- ⑤ 「△スイッチ」「▽スイッチ」を押して数値を変更します。(押し続けると数値が自動でかわります。)

設定可能範囲

O₂:18~25vol%、COMB:5~60%LEL

H₂S:1.5~30ppm、CO:15~150ppm

- ⑥ 「確定スイッチ」を押すと変更内容が確定します。

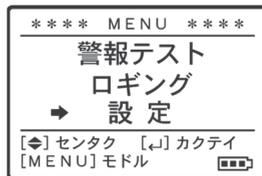
- ⑦ 「MENU スイッチ」を押すと〈ガス濃度画面〉に戻ります。

3. 使用方法 (つづき)

各種機能と設定方法 時計合わせ

- ① 「MENU スイッチ」を押して〈メニュー画面〉を表示させます。

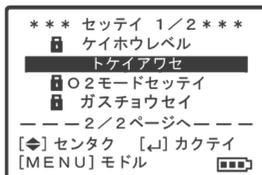
〈メニュー画面〉



- ② 「△スイッチ」または「▽スイッチ」を押して“設定”を選択して、「確定スイッチ」を押します。

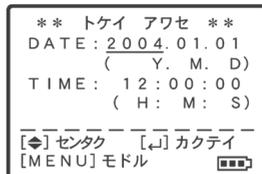
- ③ 〈設定1/2画面〉が表示されます。「△スイッチ」または「▽スイッチ」を押して“トケイアワセ”を選択し、「確定スイッチ」を押します。

〈設定1/2画面〉



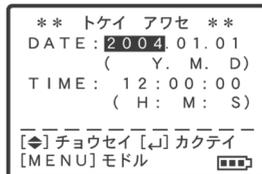
- ④ 〈時計合わせ画面〉が表示されます。「△スイッチ」または「▽スイッチ」を押して変更したい項目を選択し、「確定スイッチ」を押します。

〈時計合わせ画面〉



- ⑤ 「△スイッチ」「▽スイッチ」を押して数値を変更します。

〈時計合わせ画面〉



- ⑥ 「確定スイッチ」を押すと変更内容が確定します。

- ⑦ 「MENU スイッチ」を押すと〈ガス濃度画面〉に戻ります。

3. 使用方法 (つづき)

各種機能と設定方法 O₂モード設定

安全ロックがかかっている場合はO₂モード設定を変更できません。先に安全ロックを解除してください。(P31参照)



警告

O₂モード設定を変更する場合は、必ず安全管理者等の方が行ってください。なお、酸素欠乏検知の場合のモード設定はシタ2ダンを使用してください。

- ① 「MENU スイッチ」を押して〈メニュー画面〉を表示させます。

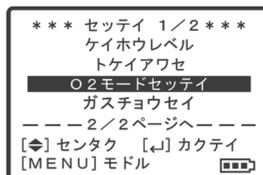
〈メニュー画面〉



- ② 「△スイッチ」または「▽スイッチ」を押して“設定”を選択して、「確定スイッチ」を押します。

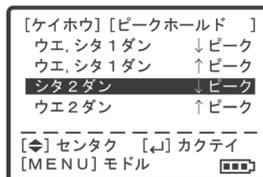
- ③ 〈設定1/2画面〉が表示されます。「△スイッチ」または「▽スイッチ」を押して“O₂モードセッテイ”を選択し、「確定スイッチ」を押します。

〈設定1/2画面〉



- ④ 〈O₂モード設定画面〉が表示されます。「△スイッチ」または「▽スイッチ」を押して希望のO₂モードを選択します。

〈O₂モード設定画面〉



モード	警報設定	ピークホールド設定
ウエ, シタ1ダン ↓ピーク	1段目警報 [L] 下限警報 2段目警報 [H] 上限警報	最低値を保持
ウエ, シタ1ダン ↑ピーク	1段目警報 [L] 下限警報 2段目警報 [H] 上限警報	最高値を保持
シタ2ダン ↓ピーク	1段目警報 [L] 下限警報 2段目警報 [H] 下限警報	最低値を保持
ウエ2ダン ↑ピーク	1段目警報 [L] 上限警報 2段目警報 [H] 上限警報	最高値を保持

- ⑤ 「確定スイッチ」を押すと選択内容が確定し、〈警報レベル画面〉に戻ります。

3. 使用方法 (つづき)

各種機能と設定方法 音量／サイレント



警告

警報音量を変更する場合は、必ず安全管理者等の方が行ってください。なお、音量を変更した場合は必ず警報テストで変更内容を確認してください。

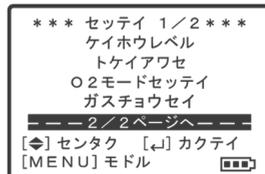
- ① 「MENU スイッチ」を押して〈メニュー画面〉を表示させます。

〈メニュー画面〉



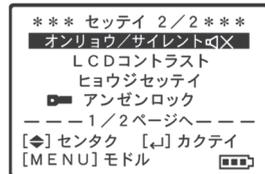
- ② 「△スイッチ」または「▽スイッチ」を押し“設定”を選択して、「確定スイッチ」を押します。

〈設定1/2画面〉



- ③ 〈設定1/2画面〉が表示されます。「△スイッチ」または「▽スイッチ」を押し“2/2ページへ”を選択して、「確定スイッチ」を押します。

〈設定2/2画面〉



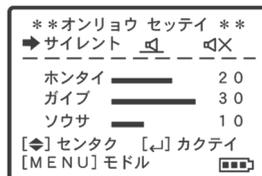
- ④ 〈設定2/2画面〉が表示されます。“オンリョウ／サイレント”が選択されている状態なので、「確定スイッチ」を押します。

3. 使用方法 (つづき)

- ⑤ 〈音量設定画面〉が表示されます。「△スイッチ」または「▽スイッチ」を押して変更したい項目を選択し、「確定スイッチ」を押します。

項目	変更内容
サイレント	サイレントモードに設定すると全てのブザーが停止します。 サイレントモード解除  サイレントモード設定 
ホンタイ	ガス警報時の本体のブザー音量を設定します。
ガイブ	ガス警報時の外部警報器のブザー音量を設定します。
ソウサ	操作音およびエラーメッセージ表示時のブザー音量を設定します。

〈音量設定画面〉

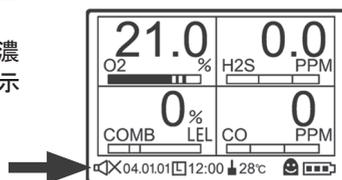


- ⑥ 「△スイッチ」「▽スイッチ」を押して設定を変更します。

- ⑦ 「確定スイッチ」を押すと変更内容が確定します。

- ⑧ 「MENU スイッチ」を押すと〈ガス濃度画面〉に戻ります。
サイレントモードに設定した場合は〈ガス濃度画面〉の年月日表示の隣に  が点滅表示されます。

〈ガス濃度画面〉



3. 使用方法 (つづき)

各種機能と設定方法 LCD コントラスト

- ① 「MENU スイッチ」を押して〈メニュー画面〉を表示させます。

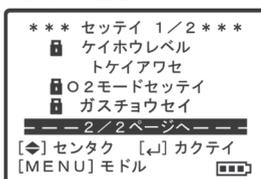
〈メニュー画面〉



- ② 「△スイッチ」または「▽スイッチ」を押して“設定”を選択して、「確定スイッチ」を押します。

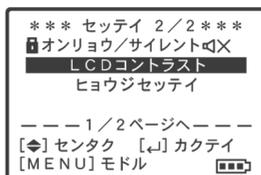
- ③ 〈設定1/2画面〉が表示されます。「△スイッチ」または「▽スイッチ」を押して“2/2ページへ”を選択して、「確定スイッチ」を押します。

〈設定1/2画面〉



- ④ 〈設定2/2画面〉が表示されます。「△スイッチ」または「▽スイッチ」を押して“LCD コントラスト”を選択し、「確定スイッチ」を押します。

〈設定2/2画面〉



- ⑤ 〈LCD コントラスト画面〉が表示されます。「△スイッチ」「▽スイッチ」を押して数値を変更します。

〈LCD コントラスト画面〉



- ⑥ 「確定スイッチ」を押すと変更内容が確定し、〈ガス濃度画面〉に戻ります。

3. 使用方法 (つづき)

各種機能と設定方法 表示設定

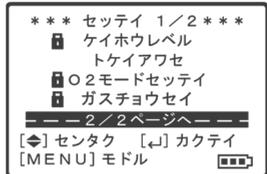
- ① 「MENU スイッチ」を押して〈メニュー画面〉を表示させます。

〈メニュー画面〉



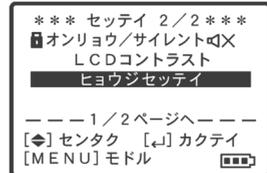
- ② 「△スイッチ」または「▽スイッチ」を押して“設定”を選択して、「確定スイッチ」を押します。

〈設定1/2画面〉



- ③ 〈設定1/2画面〉が表示されます。「△スイッチ」または「▽スイッチ」を押して“2/2ページへ”を選択して、「確定スイッチ」を押します。

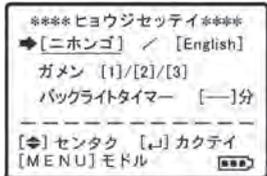
〈設定2/2画面〉



- ④ 〈設定2/2画面〉が表示されます。「△スイッチ」または「▽スイッチ」を押して“ヒョウジセットイ”を選択し、「確定スイッチ」を押します。

- ⑤ 〈表示設定画面〉が表示されます。「△スイッチ」「▽スイッチ」を押して変更したい項目を選択し「確定スイッチ」を押します。

〈表示設定画面〉



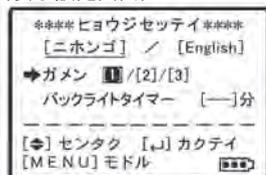
項目	変更内容
[ニホンゴ] / [English]	表示画面を日本語か英語に切換えます。 *日本語仕様は英語表示に設定できません。
ゲームン [1] / [2] / [3]	起動時の画面表示を設定します。 ゲームン1・・・通常表示タイプ ゲームン2・・・文字列表示 (和文/英文) ゲームン3・・・グラフ表示
バックライト タイマー [---] 分	バックライトの点灯時間を設定します。

バックライトタイマーの詳細については、P15を参照ください。

3. 使用方法 (つづき)

- ⑥ 「△スイッチ」または「▽スイッチ」を押して設定を変更します。
- ⑦ 「確定スイッチ」を押すと変更内容が確定します。「MENU スイッチ」を押すと〈ガス濃度画面〉に戻ります。

〈表示設定画面〉



各種機能と設定方法 安全ロック



警告

安全ロックの設定は非常に重要です。解除する場合は、必ず安全管理者等の方が行ってください。

安全ロックを設定すると下記3つの機能に同時にロックをかけ設定変更をできなくすることができます。設定変更をするには、安全ロックを解除する必要があります。

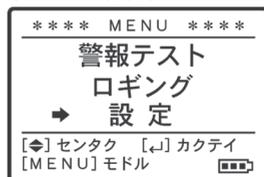
※出荷時は安全ロックが設定された状態です。

警報レベル、O₂モード設定、ガス調整

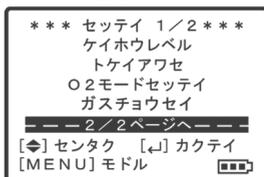
■ 安全ロックを設定する

- ① 「MENU スイッチ」を押して〈メニュー画面〉を表示させます。
- ② 「△スイッチ」または「▽スイッチ」を押して“設定”を選択して、「確定スイッチ」を押します。
- ③ 〈設定1/2画面〉が表示されます。「△スイッチ」または「▽スイッチ」を押して“2/2ページへ”を選択して、「確定スイッチ」を押します。
- ④ 〈設定2/2画面〉が表示されます。「△スイッチ」または「▽スイッチ」を押して“アンゼンロック”を選択し、「確定スイッチ」を押します。

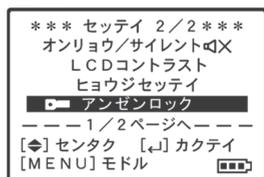
〈メニュー画面〉



〈設定1/2画面〉



〈設定2/2画面〉



3. 使用方法 (つづき)

- ⑤ 「△スイッチ」または「▽スイッチ」を押して安全ロックを解除からロックに変更します。

〈安全ロック解除画面〉



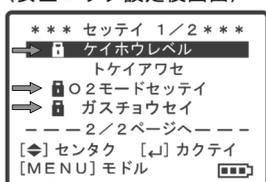
〈安全ロック画面〉



- ⑥ 「確定スイッチ」を押すと変更内容が確定され、ロックのかかった機能にロックマークが表示されます。

(「確定スイッチ」を押す前に「MENU スイッチ」を押すと変更が反映されずに〈ガス濃度画面〉に戻ります。)

〈安全ロック設定後画面〉



- ⑦ 「MENU スイッチ」を押すと、〈ガス濃度画面〉に戻ります。

■ 安全ロックを解除する

- ① 「MENU スイッチ」を押して〈メニュー画面〉を表示させます。

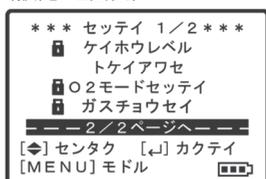
〈メニュー画面〉



- ② 「△スイッチ」または「▽スイッチ」を押して「設定」を選択して、「確定スイッチ」を押します。

- ③ 〈設定1/2画面〉が表示されます。「△スイッチ」または「▽スイッチ」を押し「2/2ページへ」を選択して、「確定スイッチ」を押します。

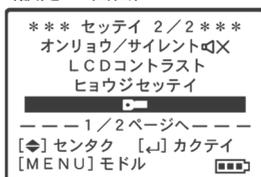
〈設定1/2画面〉



3. 使用方法 (つづき)

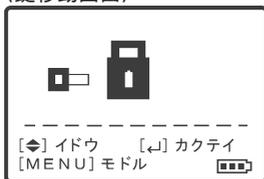
- ④ 〈設定2/2画面〉が表示されます。「△スイッチ」または「▽スイッチ」を押し“鍵マーク”を選択して、「確定スイッチ」を押します。“鍵マーク”は最初は表示されていませんが、「△スイッチ」または「▽スイッチ」を押して“鍵マーク”の位置に来ると表示されます。

〈設定2/2画面〉

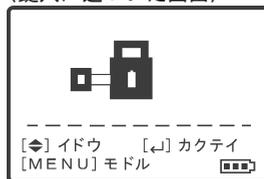


- ⑤ 「△スイッチ」または「▽スイッチ」を数回押すと鍵マークが移動して鍵穴に近づきますので、その時に「確定スイッチ」を押します。

〈鍵移動画面〉

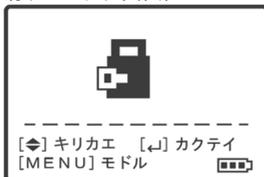


〈鍵穴に近づいた画面〉

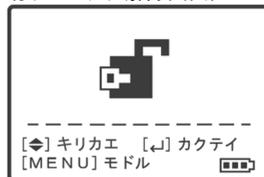


- ⑥ 「△スイッチ」または「▽スイッチ」を押して安全ロック解除を選択します。

〈安全ロック画面〉

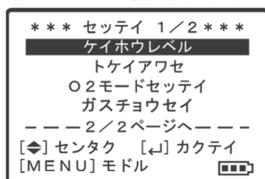


〈安全ロック解除画面〉



- ⑦ 「確定スイッチ」を押すと選択内容が確定され、ロックマークが消えて安全ロックが解除されます。（「確定スイッチ」を押す前に「MENU スイッチ」を押すと変更が反映されずに〈ガス濃度画面〉に戻ります。）

〈安全ロック解除後画面〉



- ⑧ 「MENU スイッチ」を押すと〈ガス濃度画面〉に戻ります。

4. お知らせ及びエラーメッセージ

ガス検知器に異常または、お知らせ事項が発生すると、LCD 画面にメッセージが表示されます。(ブザーが鳴ります。)主なメッセージ表示は下表の通りです。メッセージ画面の表示に従って処置を行ってください。(外部警報器(オプション)の異常時の動作はP7参照)メッセージが表示されずに操作スイッチや表示が正しく動作しない場合には、電池を一旦外し電源を入れ直して動作を確認してください。それでも復旧しない場合は修理をお申し付けください。表以外のお知らせメッセージ及びエラーメッセージが表示された場合は弊社にお問い合わせください。

●お知らせメッセージ

お知らせエラーメッセージ	処置
O ₂ センサ ジュミョウ サンソ センサヲ コウカン シテ クダサイ	酸素センサが寿命です。 このまま使い続けると酸素濃度が検知できなくなりますので、直ちにセンサの交換を依頼してください。
[LOGGER STOP] ロガーティシ メモリフソク ノタメ ティシ シマシタ	ロギングのメモリ残量がなくなっています。必要に応じてログデータ収集セットXP302ML(オプション)にてパソコンにデータを保存してください。データを消去(P21参照)すれば再度ロギングを開始できます。
ロガー カイシ デキマセン トケイヲアワセテクダサイ	時計が止まっていますので、ロギングが開始できません。時計を合わせてから(P24参照)再度ロギングを開始してください。

●エラーメッセージ

エラーメッセージ	処置
ゼロチョウセイフノウ	清浄空気中で10分程度吸引させた後「ZERO スイッチ」を約2秒間押して自動ゼロ調整を行ってください。復旧しない場合は、一旦電源を切って再起動してください。それでも復旧しない場合は修理を依頼してください。
*** [E10] *** SENSOR ERROR	RTC(時計IC)が異常です。 修理を依頼してください。
*** [E01] *** RTC ERROR	RTC(時計IC)が異常です。 修理を依頼してください。
センサイジョウ デス セイジョウ センサ ダケデ ショウ シマスカ	- 「ZERO スイッチ」を約2秒間押すと正常センサだけで自動ゼロ調整を実施しガス濃度画面に戻ります。 - 「MENU スイッチ」を押した場合は異常のまま元に戻ります。清浄空気中で10分程度吸引させた後に正常復帰せず、なおかつ電源の再起動でも正常復帰しない場合は修理を依頼してください。
ポンプティシシマシタ 流量低下	ガス導入管が折れたり、水を吸引したり、吸引口先端がふさがれた可能性がありますので、水の除去等の処置(P34参照)をしてください。原因が解消できたら、「ZERO スイッチ」を約2秒間押して復帰させてください。復旧しない場合や水がガス導入管やガス検知器内部まで吸引された場合は、修理を依頼してください。
[LOGGER STOP] **ロガーティシ** メモリアイジョウ ノタメ ティシ シマシタ	ロガー用メモリが異常です。購入後初めてご使用になる場合はデータ消去(フォーマット)が必要です。 データを消去(P21参照)しても再度ロギングが開始できない場合は、機器が異常ですので修理を依頼してください。

5. 消耗品の交換方法

フィルタエレメントの交換

フィルタエレメントが汚れたり濡れたり、ドレンフィルタ内またはフィルタケース内に水が溜まっていたりしている場合は、ドレンフィルタ内またはフィルタケース内を掃除し、フィルタエレメントを新しいものに交換してください。



警告

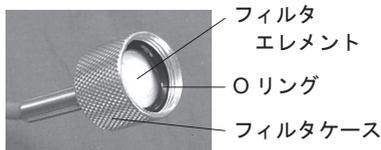
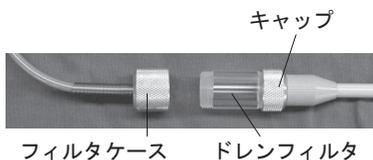
水がガス導入管やガス検知器内部まで吸引された場合は修理を依頼してください。正常な検知ができません。

メモ

フィルタエレメントを指などで押ししたり、突いたりしないでください。破損して、防滴性が損なわれます。

■ 1m ガス導入管の場合

- ① ドレンフィルタのフィルタケースを取り外します。
- ② フィルタケースの中のOリングを小ドライバーなどで取り外します。
- ③ フィルタエレメントを新しいものと交換し、元の通り組み立てます。
(場合によっては吸引パイプ側のキャップも取り外し、乾いた布などでドレンフィルタ内部をきれいに拭いてください。)



■ 8m ガス導入管の場合

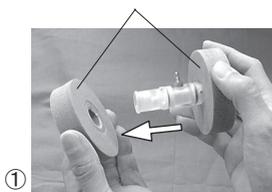
- ① フロート（左右2個）を引き抜いて取り外します。
- ② フィルタケース（左右2個）を左方向に回してドレンフィルタを取り外します。
- ③ フィルタケースの中のOリングを小ドライバーなどで取り外します。水が溜まっている場合は乾いた布等で除去してください。
- ④ フィルタエレメントを新しいものと交換し、元の通り組み立てます。

フロート

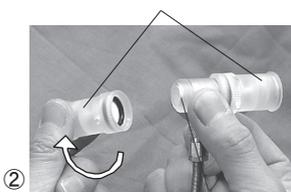
フィルタケース

フィルタエレメント

Oリング

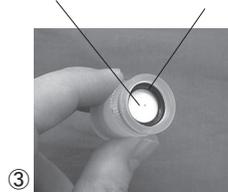


①



②

ドレンフィルタ



③

5. 消耗品の交換方法（つづき）

活性炭フィルタの交換



警告 活性炭フィルタの交換は非危険場所で行ってください。



一酸化炭素（CO）センサ部にはアルコールや硫化水素等の干渉ガスを除去するために、活性炭フィルタを内蔵しています。必要に応じて交換してください。

① ガス検知器の電源が入っている場合は切ります。

② センサユニットの取付ネジ（4本）を緩めます。

取付ネジ4本



③ センサユニットをガス検知器から取り外します。



④ センサユニットの裏側の取付ネジ（2本）を緩めて外します。

取付ネジ2本



⑤ センサカバー（赤色）を下側にして、センサケースを取り外します。

5. 消耗品の交換方法（つづき）

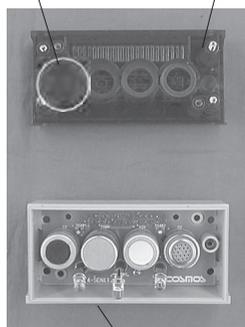
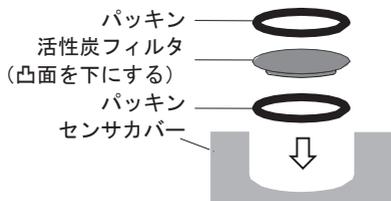
- ⑥ センサカバーの端にある、活性炭フィルター式をすべて取り除きます。

活性炭フィルター式をすべて取り除く
センサカバー

- ⑦ 新しい活性炭フィルタを取り付けます。図のように、パッキン・活性炭フィルタ・パッキンの順で、くぼみに置きます。このとき活性炭フィルタは凸面を下にして置いてください。

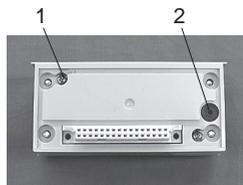
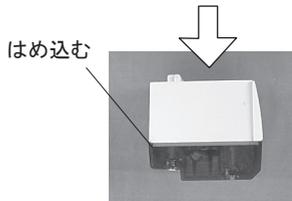
メモ

活性炭フィルタはくずれやすいので取り扱いに注意してください。指などで押すと、割れを生じるおそれがあります。

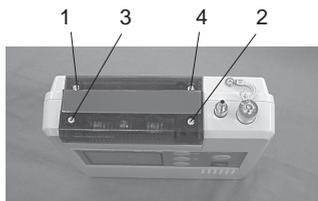


センサケース

- ⑧ センサカバー（赤色）を下側にしてセンサケースをはめ込み、写真の順で片締めにならないように交互に取付ネジ（2本）を締め付けます。



- ⑨ センサユニットをガス検知器に接続し、写真の順で片締めにならないように少しずつ取付ネジ（4本）を締め付けます。



5. 消耗品の交換方法（つづき）

電池の交換

電池残量が少なくなると、BATT.ランプが点滅し、ブザーが「ピッ・・ピッ・・」と鳴り、ガス検知ができなくなります。速やかに電池を交換してください。更に低下し終止電圧になると“電池消耗”のメッセージが表示されます。

警告 電池交換は非危険場所で行ってください。

メモ

- ・電池は、4本とも同じ種類で未使用のものをお使いください。
- ・電池交換は、4本同時におこなってください。

- ① ガス検知器背面の電池カバーロックを「FREE」側に回します。
- ② 電池カバーを開け、新しい電池（単3形アルカリ乾電池4本）を底面の表示通りに極性を合わせて入れます。
- ③ 電池カバーを閉め、電池カバーロックを「LOCK」に回します。電池カバーが開かないことを確認してください。



電池カバーロック

電池カバー

外部警報器（オプション）の電池の交換

電池残量が少なくなると、動作ランプ（緑色）が点滅し、ブザーが「ピッ・ピッ・」と10秒間だけ鳴ります。早めに電池を交換してください。

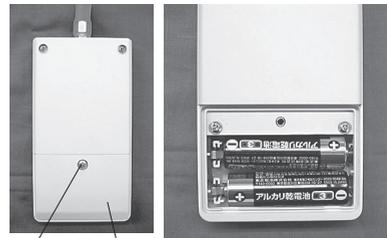
終止電圧になると検知器の画面に“ガイブケイホウキ デンチショウモウ”というメッセージが表示され、動作ランプが消灯してブザーが5分間「ピー」と連続鳴動します。

警告 電池交換は非危険場所で行ってください。

メモ

- ・電池は、2本とも同じ種類で未使用のものをお使いください。
- ・電池交換は、2本同時に行ってください。

- ① 保護ケースを取り外します。
- ② 外部警報器の背面のネジをゆるめ、電池フタを外します。
- ③ 新しい電池（単3形アルカリ乾電池2本）を底面の電池マークの通りに極性を合わせて入れます。
- ④ 元の通り組み立てます。



ネジ

電池フタ

電池フタを外したところ

6. 保守点検

本器は精密機器です。製品の性能を維持し、安全を確保していただくためには、下記の項目に従って点検を実施してください。また、落下等の衝撃を与えた、内部が水に濡れた等「安全にご使用いただくために」（P3参照）の記載事項に反した場合、および検知範囲外のガス濃度を検知した、使用温湿度範囲外で使用した等「仕様」（P42～43参照）に記載している範囲外で使用した場合には、状況説明を添えて点検（有料）をお申し付けください。



警告

センサユニットの推奨交換周期は1年です。1年を過ぎると、正常な検知ができないおそれがありますので、1年を目安に交換してください。

日常点検

- ・必ず使用前に行ってください。
- ・異常のあった場合は点検（有料）をお買い上げ店または弊社にお申し付けください。

点検項目	点検内容
警報機能	警報ランプおよびブザーが正常に動作するか確認してください。（P17参照）
ガス導入管	ガス導入管に折れやピンホール・亀裂がないか、またガス導入管の接続が確実にされているかを確認してください。
ドレンフィルタ	フィルタエレメントが汚れたり濡れたり、ドレンフィルタ内またはフィルタケース内に水が溜まっていたりしている場合は、ドレンフィルタ内またはフィルタケース内を掃除し、フィルタエレメントを新しいものに交換してください。（P34参照）
フィルタケース	
電池残量	<p>ガス検知器および外部警報器（オプション）の電池残量を確認してください。ガス検知器は常時LCD画面の右下に、外部警報器は「MENU スイッチ」を押すと〈メニュー画面〉の右上に表示されます。</p> <p>〈メニュー画面〉</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>外部警報器の電池残量</p> <p>ガス検知器の電池残量</p> <p>電池残量 多い・・・・・・・・・・・・・・・・少ない</p> <p style="text-align: center;"> (点減) (点減) </p> <p>電池残量が少なくなっている場合には、新しい電池に交換をしてください。（P37参照）</p>
年月日、時刻	年月日および時刻の設定が違っている場合は、正しく合わせてください。（P24参照）

6. 保守点検（つづき）

定期点検

- ・6ヶ月に1回以上はガス点検をお買上げ店または弊社にお申し付けいただくことをおすすめします。
- ・1年に1回以上はセンサユニットの交換を含む定期点検をお買上げ店または弊社にお申し付けいただくことをおすすめします。

主な交換部品

品名	型式	備考
フィルタエレメント	FE-2（10枚入り）	ドレンフィルタ・ サンプリングフロート兼用
活性炭フィルタ	FE-114（2個入り）	一酸化炭素（CO）センサ用 パッキン4個付
センサユニット	SU-302M-※	※検知対象ガスを表す記号 A：酸素（O ₂ ）・可燃性ガス（COMB） 硫化水素（H ₂ S）・一酸化炭素（CO） B：酸素（O ₂ ）・可燃性ガス（COMB） 硫化水素（H ₂ S） C：酸素（O ₂ ）・可燃性ガス（COMB） 一酸化炭素（CO） ※可燃性ガス（COMB）用センサは耐圧防爆構造です。

交換部品の保証期間は お買上げ日より1ヶ年です。保証条件は製品と同じになります。

7. 故障とお考えになる前に

修理を依頼される前に、もう一度次の表に従ってお調べください。（操作不能となった場合は、一旦電池を全て外して、数分後に再度電池を入れ操作してください。）

■ ガス検知器

症状	原因	処理	参照ページ
POWER スイッチを押しても電源が入らない	電池の極性が逆	電池を正しく入れ直す	電池の交換 P37
	電池の寿命	電池を交換する	
BATT. ランプが点滅しピッ・ピッ・とブザーがなる	電池残量が少ない	電池を交換する	
“電池消耗”のメッセージが表示される	電池残量がなくなった	電池を交換する	音量/ サイレント P26
ブザーが鳴らない	サイレントモードになっている	サイレントモードを解除する	
	音量設定が「0」になっている	音量設定を「1」以上にする	
ガスが検知できない	ガス導入管が破損している	新しいものに交換する	準備P9
	接続が不完全	接続をやり直す	
LCD 画面にエラーメッセージが表示される	エラーメッセージを参照してください P33参照		

■ 外部警報器

症状	原因	処理	参照ページ
ガス検知器に接続して電源を入れても、動作ランプ（緑色）が点灯しない	電池の極性が逆	電池を正しく入れ直す	電池の交換 P37
	電池の寿命	電池を交換する	
ブザーが10秒間ピッピッピッピッと断続鳴動し、動作ランプ（緑色）が点滅している	電池残量が少ない	電池を交換する	
ブザーが5分間ピーと連続鳴動し、動作ランプ（緑色）は消灯している （警報ブザーは約5分間連続鳴動した後自動的に停止します。）	電池残量がなくなった		
ブザーが5分間ピービッピービッピーと断続鳴動し、動作ランプ（緑色）は点滅している （5分後に動作ランプ（緑色）は消灯し警報ブザーが停止します。）	通信異常	コネクタの接続、中継ケーブルおよび通信ケーブルの断線をチェックする	電池の交換 P37
	ガス検知器の電池残量がなくなった	ガス検知器の電池を交換する	
ブザーが断続鳴動し、動作ランプ（緑色）は点滅している	ガス検知器の異常	ガス検知器のメッセージに従う	
ブザーが鳴らない	音量設定が「0」になっている	音量設定を「1」以上にする	音量/ サイレント P26

8. 保証書とwebユーザー登録

● 保証書とwebユーザー登録

包装箱の中に保証書とwebユーザー登録のご案内が入っています。webユーザー登録は、ご登録いただいた機器情報から保守点検時期やサポート情報などをメール等にてご案内させていただきますので、ぜひこのサービスをご利用ください。

● 保守点検のお願い

お買いいただきましたガス検知器は、精密機器です。精度を維持し、安全を確保していただくためには、皆様方をお願いする日常の保守点検のほかに、1年に1回以上は、お買い上げ店または弊社に点検調整（定期点検）をお申し付けください。

なお、日常の保守点検について不明な点は、弊社までお問い合わせください。また、定期点検は定期点検契約により実施させていただきます。

機器の故障修理につきましては、お買い上げ店または弊社までご連絡ください。
（送料は、お客様負担とさせていただきます。）

● 保証について

保証期間中に、取扱説明書に沿った正常なご使用状態で万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

9. 廃棄について

検知器本体、付属品および電池は、各地域で定められた条例などに従い廃棄処分してください。

10. 仕 様

■ ガス検知器

型式	XP-302M-R			
検知対象ガス	可燃性ガス	酸素	硫化水素	一酸化炭素
検知原理	接触燃焼式	ガルバニ電池式	定電位電解式	定電位電解式
ガス採取方式	自動吸引式			
検知範囲 (サービスレンジ)	0~100% LEL (101~110% LEL)	0~25vol% (25.1~50vol%)	0~30ppm (30.1~150ppm)	0~150ppm (151~300ppm)
指示精度 ^{※1} (サービスレンジ は除く)	±5% LEL以内	±0.5vol%以内	±1.5ppm以内	100ppm以下 ±10ppm以内 101-150ppm ±15ppm以内
表示分解能	1% LEL	0.1vol%	0.1ppm	1ppm
警報設定値 (警報レベル)	1段目：10% LEL 2段目：30% LEL	1段目：19.5vol% 2段目：18vol%	1段目：10ppm 2段目：15ppm	1段目：50ppm 2段目：100ppm
警報精度 ^{※1} (サービスレンジ は除く)	30% LEL以下： ±5% LEL以内 31-100% LEL： 設定値の±25%以内	±1.0vol%以内	±3ppm以内	50ppm以下： ±15ppm以内 51-150ppm： 設定値の±30%以内
応答時間 ^{※2} (1m導入管装着時)	30秒以内	20秒以内	30秒以内	30秒以内
応答時間 ^{※2} (8m導入管装着時)	40秒以内	40秒以内	40秒以内	40秒以内
ガス警報方式	ブザー鳴動、赤色ランプ点滅およびLCD点滅表示			
電源	単3形アルカリ乾電池 4本 (パナソニック (株) LR6)			
連続使用時間 ^{※3}	アルカリ乾電池にて8時間以上 (@20℃、警報・バックライト・データロギング切状態にて)			
使用圧力範囲	大気圧 (800~1100hPa)			
使用温湿度範囲	-10~40℃ 30~90% RH (但し、結露なきこと)			
構造、規格等	・防滴構造 (IP22) ・防爆については別表参照 (P43)			
その他の主な警報	電池残量 (電池残量レベル常時表示有り)、センサ異常、流量低下			
主な機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスプレイの表示切替 通 常 表 示：3または4ガス濃度、温度、日時等を同時表示 (3または4ガスのバーグラフ付) グラフ表示：3または4ガス濃度の1分毎のピーク値を最新54分間のトレンドグラフで表示 文字列表示：ガス名を和文にして、3または4ガス濃度、温度、日時等を同時表示 ・ゼロ調整 (起動時および適時に3または4センサ同時の自動ゼロ調整ができる。但し、酸素は21.0vol%調整) ・ピークホールド (3または4ガスの濃度表示をピーク値表示にできる。但し、酸素のみ下限ピーク) ・ブザーストップ (ブザー鳴動時にスイッチにてブザーを停止できる) ・自動バックライト (光検知により自動点滅する) ・音量調整 (警報音およびスイッチ操作音の音量調整ができる) ・警報テスト (ブザーおよびランプ点滅の動作チェックができる) ・データロギング (日時/3または4ガス濃度/温度のデータを設定周期にて記憶できる。例えば、30秒間隔では150時間ロギング可能) 			
寸法	約 (W)152×(H)152×(D)42mm (突起部を除く)			
質量	約 870g (本体部のみ)			

※1 指示精度：同一測定条件によります。

※2 応答時間：導入管先端からガスを吸引させた時の90%応答の時間とする。
(周囲温度は20±2℃の状態とする)

※3 環境条件、使用条件、保存期間、電池メーカーなどにより異なります。

10. 仕 様 (つづき)

■ 外部警報器 (オプション)

型式	AL-302M-R-8
警報方式	ブザー鳴動、緑色ランプ (動作ランプ) または赤色ランプ (ガス警報ランプ) の点滅
警報表示	<ul style="list-style-type: none"> ・ ガス警報 (1段及び2段) : 赤色ランプ点滅およびブザー断続鳴動 ・ 通信異常 : 緑色ランプ点滅およびブザー断続鳴動 ・ ガス検知器の異常警報 : 緑色ランプ点滅およびブザー断続鳴動 ・ 電池交換警報 : 緑色ランプ点滅およびブザー断続鳴動 ・ 電池終止警報 : 緑色ランプ消灯およびブザー連続鳴動
使用温湿度範囲	-10~40°C 95% RH以下 (但し、結露なきこと)
構造、規格等	・ 防滴構造 (IP22) ・ 防爆については別表参照 (P43)
電源	単3形アルカリ乾電池 2本 (パナソニック (株) LR6)
連続使用时间※1	約70時間 (20°C、無警報の場合)
通信ケーブル長さ	8m
寸法	約 (W) 65 × (H) 119 × (D) 23mm (本体部のみ、突起部を除く)
質量	約 280g

※1 環境条件、使用条件、保存期間、電池メーカーなどにより異なります。

■ 防爆仕様

・ ガス検知器

型式	XP-302M-R	
防爆性能	Ex ibd II B T3 X (可燃性ガスセンサ部 : 耐圧防爆構造及び本質安全防爆構造 (ib) その他の部分 : 本質安全防爆構造 (ib))	
保護等級	IP20	
定格	電氣的 パラメータ	電源 DC3.0V 0.35A (LR6/パナソニック株式会社4本) 可燃性ガスセンサ部 DC2.5V 0.13A 本安回路許容電圧 10V 内部キャパシタンス 無視できる値 本安回路許容電流 12mA 内部インダクタンス 無視できる値 本安回路許容電力 100mW
	周囲温度	-20°C~40°C

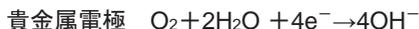
・ 外部警報器 (オプション)

型式	AL-302M-R	
防爆性能	Ex ib II B T3 (本質安全防爆構造 (ib))	
保護等級	IP20	
定格	電氣的 パラメータ	電源 DC3.0V 0.2A (LR6/パナソニック株式会社2本) 本安回路最大電圧 4.7V 本安回路最大キャパシタンス 60μ F 本安回路最大電流 7.6mA 本安回路最大インダクタンス 300mH 本安回路最大電力 8.9mW
	周囲温度	-20°C~40°C

11. 検知原理

● 隔膜ガルバニ電池式（酸素）

貴金属電極と卑金属電極と電解液より構成され、貴金属電極はテフロン膜を介して空気と接しています。両極に負荷抵抗を接続することにより、電位差を生じるため、次の反応が進行します。

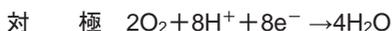


この結果、空気中の酸素濃度に比例した電流が貴金属電極から卑金属電極へ外部回路を通して流れます。起電力の温度依存があるため、サーミスタにより雰囲気温度変化を補償しています。

● 定電位電解式（硫化水素、一酸化炭素）

3個の電極および電解液から構成されており、ポテンシオスタット回路により、作用電極を照合電極に対して一定電位に保ち電解酸化を行う方法で、この時の発生する電流を測れば、ガスの濃度を知ることができます。

硫化水素の場合の電解反応について説明すると、以下の様になります。



● 接触燃焼式（可燃性ガス）

白金コイル上に塗布された触媒の働きにより爆発下限界以下のガス濃度でも、触媒表面で接触燃焼をおこし、この時発生する温度上昇により白金コイルの電気抵抗が増加します。この変化をブリッジ回路に偏差電圧として取り出しています。爆発下限界（LEL）までの可燃性ガス検知ができます。

12. 用語の説明

O₂：酸素

H₂S：硫化水素

COMB：可燃性ガス

CO：一酸化炭素

ゼロ調整：清浄空气中でゼロ点の調整をすること。

スパン調整：スパンガスで指示値を調整すること。

防爆構造：電気機器が点火源となってその周囲における爆発性雰囲気には点火することがないように電気機器に適用する構造。

本質安全防爆構造：正常時および事故時に発生する電気火花または高温部によって爆発性ガスに点火しえないことが、点火試験その他によって確認された構造。

非危険場所：通常および異常な状態において、爆発性ガスと空気が混合し爆発限界内にある状態の雰囲気の生成の可能性がないとみなされる場所。

%LEL：可燃性ガスの爆発下限界濃度を100として、可燃性ガスの濃度を百分の1の単位で表したものの。

vol%：ガスの濃度を体積の百分の1の単位で表したものの。

サービスレンジ：目安としての指示値を表す検知範囲外のレンジ。

爆発下限界 (LEL)：可燃性ガスが空気と混合し、着火によって爆発を起こす濃度範囲の下限濃度値をいう。

(一部、産業用ガス検知警報器工業会、ガス検知警報器用語、検知管式ガス測定器用語より引用)

●この取扱説明書を紛失された場合

万一この取扱説明書を紛失された場合は、弊社、最寄りの支社または営業所までご連絡ください。有償にて送付いたします。

- 本取扱説明書の記載内容は、改良等のため予告なく変更する場合があります。

代理店・販売店



新コスモス電機株式会社

〒532-0036 大阪市淀川区三津屋中2-5-4

<http://www.new-cosmos.co.jp/>